東海大学医学部付属病院
スタッフ支援センター　復職支援室　年次活動報告
2025

【初めての復職研修者を受入れるなど本格始動】

日本医師会ドクターバンクからの紹介で、はじめて復職研修者を受入れました。医師のキャリア継続、復職には様々な課題がありますが、ひとつひとつ対応していきます。

以下は、当年度の活動報告です。

【医師を対象とする支援】

相談対応

・復職研修について　２件
・キャリア継続と復職に関する相談　２件

復職研修支援

復職研修に関する相談のうち１件は、復職と研修に関連する数回のオンライン面談を実施した。復職研修について検討・調整を行ったが、現在の勤務状況に加え、本院への研修頻度の確保が難しかったことから、今回は本院での復職研修の実施には至らなかった。

もう１件については、相談の結果、実際に本院で研修をすることになった。具体的には以下のとおり対応した。

・復職と、そのための研修に関する初期面談
・研修先候補診療科代表者との面談設定と面談への同席
・研修先の選択に関する面談
・受入診療科とのスケジュール調整等
・研修に関する報告や課題に関する相談対応（約１回／月）
・研修者対象掲示板と参考書籍貸出の導入
・研修記録の収集と修了証の授与

なお、当復職支援室ホームページの支援プログラムの項目に、「復職研修事例」として実際の復職研修修了までの流れと復職研修修了者へのインタビュー抄録を掲載している。ぜひご参照されたい。

院内セミナー開催

・医学生（1年生）向け講義：良医入門講義「ライフイベントと医師のキャリア」

日時：2025 年 11 月 13 日（木）1 時限目

場所：東海大学伊勢原キャンパス 1 号館　講堂 A（対面のみ）
講師：乳腺外科学　寺尾まやこ、医療倫理学　大貫優子、緩和医療学　津田万里、臨床検査学　渥美治世
セミナーは、まず寺尾がテーマに沿ったレクチャーを行い、その後教員 4 名によるフリーディスカッション、および学生のワークシートの記入と質疑応答を行った。
多くの学生にはまだ切迫感のない話題だったようだが、介護等に関する深刻な悩みを抱えた学生からの質問もあり、「最悪、キャリア中断後も、復帰できることがわかってホッとした」とのリアクションを得て、今後も想定内、想定外のライフイベントと、医師のキャリア構築とのバランスをどう取っていくか、その際に相談できるところはどこかなどについて本講義を継続していきたい。

・臨床研修医向けキャリア支援セミナー：「ライフイベントと医師のキャリア」

日時：2026 年 2 月 21 日　第 5 回 CPC 終了後
場所：東海大学伊勢原キャンパス 1 号館　講堂 B（対面のみ）
講師：乳腺外科学　寺尾まやこ
セミナーは、CPC 終了後の短時間ではあったが、講演、質疑応答が行われた。
質疑応答、セミナー後アンケートでは、職場の規程にはどういったものがあるか、それらをどうやって調べるかなどを知りたいという意見が寄せられた。

・2025 年度復職研修修了者インタビュー（学園内オンデマンド配信）

日時：2026 年 5 月 15 日より
インタビュイー：復職研修修了者
インタビューでは、17 年前に離職された時の気持ち、研修を受講するまでの試行錯誤、研修中のこと、ご家族の理解とバックアップ、研修後のことなどを、研修終了 1 か月後に伺いました。なお、インタビュー抄録は当室ホームページで公開している。

地域との連携

・神奈川県医師会　第 1 回医師相互支援委員会

2025 年 10 月 30 日、寺尾まやこ医師が出席。
当復職支援室の復職支援活動を紹介した。

・神奈川県医師会　第 2 回医師相互支援委員会

2025 年 12 月 11 日、寺尾まやこ医師が出席。
当復職支援室紹介リーフレットの配布と、活動の紹介を行った。

・大船中央病院の臨床研修医対象のハラスメントに関するセミナー

2026 年 1 月 17 日、当室からは、渥美治世医師、寺尾まやこ医師、大貫優子医師が参加。

当日のプログラムの中で、ハラスメント予防ワークショップ、働き方・キャリア形成の多様性に関する講演、当復職支援室の紹介を行った。また、大船中央病院長、当日のセミナー講師の東京大学精神科医師と情報交換を行い、連携強化を行った。

【医療職全般を対象とする活動】

キャリア支援セミナー（学園内限定オンデマンド配信）

・育児と仕事の両立―ベビーシッター利用を中心に―（2024 年度からの継続）
・ベビーシッターの利用体験（2024 年度からの継続）
・介護が必要になった時　介護保険・介護サービスの使い方、高齢者の入所施設の種類と特徴（2024 年度からの継続）

搾乳ブースの増設

院内勤務者からの搾乳室を便利に利用したいとの要望に応えるため、新たに搾乳ブースを購入して、院内に 3 か所増設。利用開始は 3 月 2 日。厚生労働省補助金「子育て世代の医療職支援事業」を利用。



ベビーシッター派遣事業割引券

2024年度トライアル実施に引き続き、実施。
・利用申込者数：12名
・利用者数：3名
・総利用枚数：275枚

相談対応

・搾乳ブースに利用について　　2 件

ラウンジ・シーガルの利用

・搾乳ブースの利用：のべ 23 回
・相談時の利用：のべ 8 回

院内保育

・2025 年度保育施設運営委員会

2026 年 3 月 16 日、鈴木秀美スタッフ支援センター次長が出席。
2025 年度の院内保育の現状と課題を把握。

【その他の活動】

厚生労働省　令和 7 年度医療施設運営費等補助金「子育て世代医療職支援事業」への応募

令和 7 年度の応募に対し、採択の通知があり、補助金の交付があった。

2026 年 4 月、実績報告書を提出した。

院外対象広報活動

・日本医師会女性医師センター女性医師バンクに、紹介先として当復職支援室を加えてもらえるよう依頼した。

・神奈川県内の乳腺外科講演会（第一三共）にて、働き方改革について、聖マリアンナ、神奈川県立がんセンターの先生方と講演した。対象は、神奈川県内の乳腺外科医師。本学からは寺尾まやこ医師が復職支援室をメインにお話しした。

・復職支援室紹介リーフレット 2025（学外用）の作成と配布

・東海大学医学部付属病院ホームページの「採用トピック」、「その他」に「復職支援室（ご相談受付中）」チラシ PDF を掲載。

・復職支援室ホームページの更新（7 回）

院内対象広報活動

・復職支援室紹介リーフレット 2025（学内用）の作成と配布

・ラウンジ・シーガル・ニューズレター2025 春号、秋号、冬号の作成と配布

・SharePoint への各種お知らせの掲載

・伊勢原かわら版へのお知らせの掲載

・東海大学新聞への復職研修に関する記事の掲載

院内他部署との連携

・事務系諸部署の協力を得て、復職支援室を運営することができた。

・復職やキャリア継続に関する相談対応に際しては、諸診療科からも多大なる協力を得た。

定例会議

ほぼ毎月 1 回、年度合計 12 回会議を行い、復職支援室の活動や運営について検討した。構成メンバーは、鈴木秀美スタッフ支援センター次長、寺尾まやこ室長（医師）、大貫優子医師、渥美治世医師、門向かおる（コンシェルジュ・事務）。

以上